

# 令和5年度 ライフプランニング学習副読本 『考えようふるさと秋田とわたしの未来』（小学生用） 活用状況調査集計結果

調査対象：県内小学校 174校（国立大学法人立：1校、市町村立：173校）

県内義務教育学校・前期課程 3校（市町村立：3校）

※分校を含む。

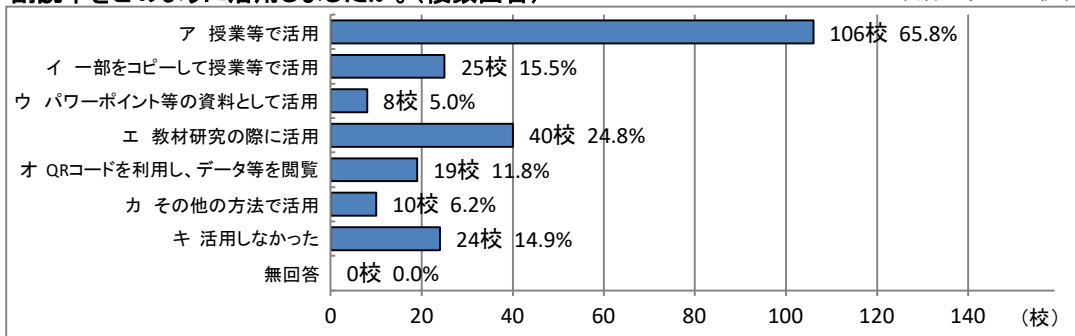
※義務教育学校については、便宜上、おおむね前期課程における小学生用副読本の活用状況をこの票に、おおむね後期課程における中学生用副読本の活用状況を中学生用の集計結果の票に合算して集計しています。  
そのため、義務教育学校3校分が小学生用・中学生用の集計結果にそれぞれ計上されています。

◎回答率 91.0%（回答161校／対象177校）

◎活用率 85.1%（活用137校／回答161校）

## 問1 副読本をどのように活用しましたか。（複数回答）

※回答があった161校中



活用方法「カ その他の方法で活用」の主な回答（類似の回答を統合し、主旨を簡略表記している。以下同じ。）

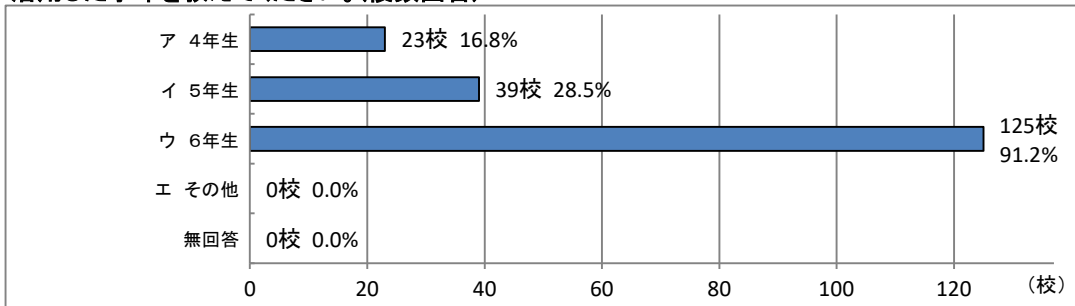
- ・読書タイム、朝学習で読ませる。学級全員で読み合わせに活用
- ・修学旅行の調べ学習で活用、修学旅行での他県との比較のために活用
- ・家庭に持ち帰らせる。持ち帰らせて家族で話題にさせる。
- ・児童に配布し、個々に読ませる、必要に応じて活用させる。

活用状況「キ 活用しなかった」の主な理由

- ・活用する時間の確保が困難
- ・教科書、教科の資料集、他の関連資料、自作シートを活用
- ・年間の指導計画やカリキュラムに位置付けていない。
- ・校内での配布時期が遅れた。

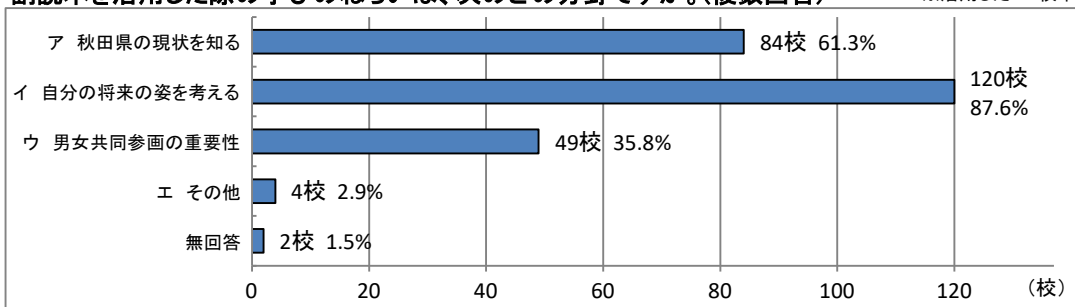
## 問2 活用した学年を教えてください。（複数回答）

※活用した137校中



## 問3 副読本を活用した際の学びのねらいは、次のどの分野ですか。（複数回答）

※活用した137校中



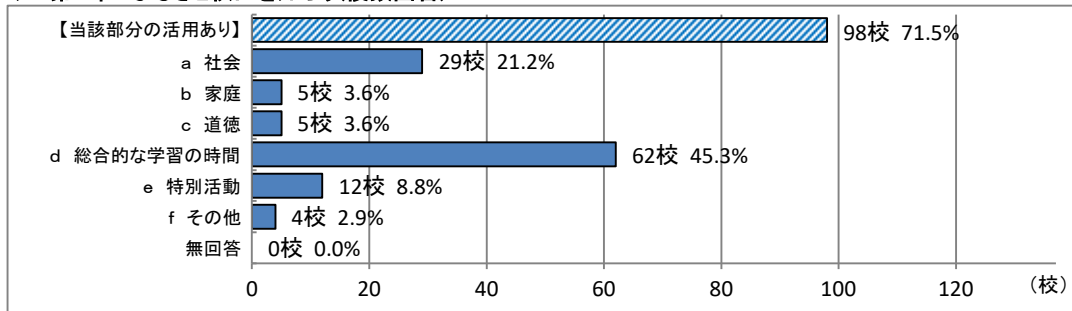
学びのねらいの分野「エ その他」の主な回答

- ・人や友達との関わりを考える
- ・家族や友達、地域との関わり方を見直すための動機付け

問4 副読本のどの部分を、どのような場面で活用しましたか。

ア 第1章 ふるさと秋田を知ろう(複数回答)

※活用した137校中

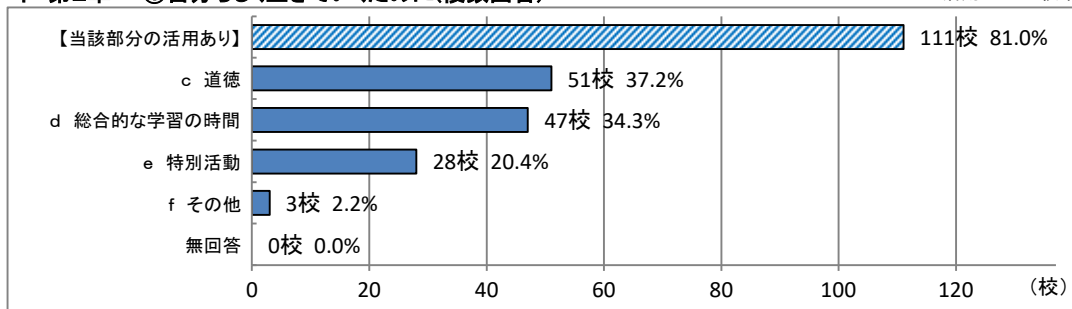


活用場面「f その他」の主な回答

- ・朝学習、読書の時間

イ 第2章 ①自分らしく生きていくために(複数回答)

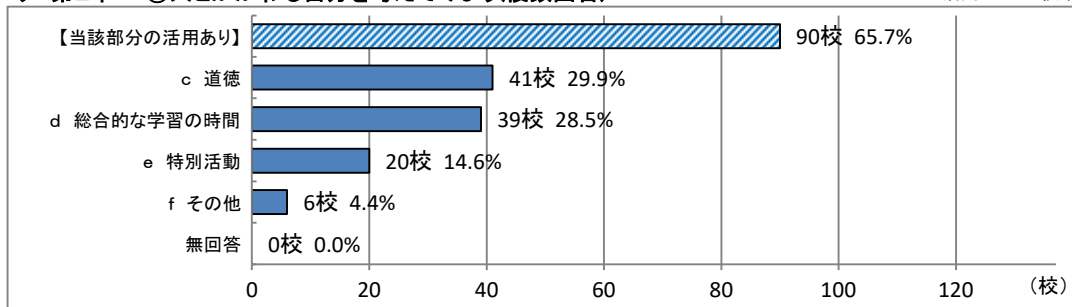
※活用した137校中



活用場面「f その他」の主な回答は、問4のAと同様

ウ 第2章 ②人とかかわる自分を考えてみよう(複数回答)

※活用した137校中

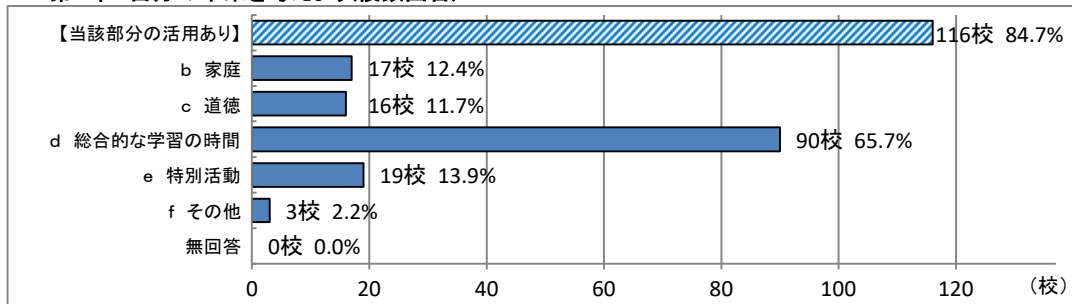


活用場面「f その他」の主な回答

- ・国語、家庭科の授業
- ・朝学習、読書の時間

エ 第3章 自分の未来を考えよう(複数回答)

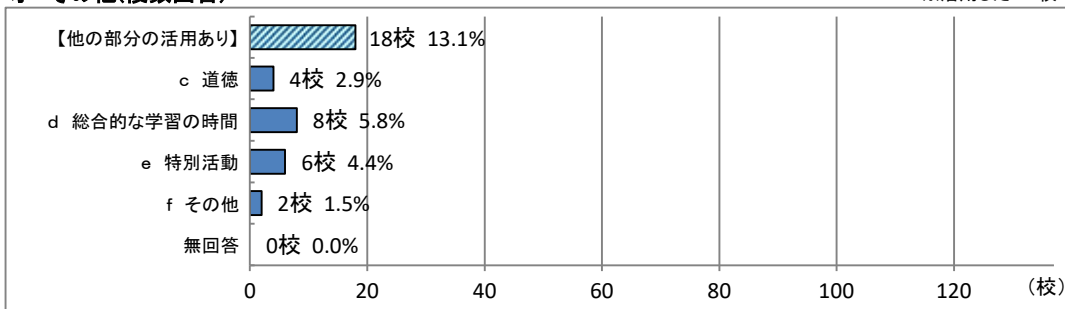
※活用した137校中



活用場面「f その他」の主な回答は、問4のAと同様

オ その他(複数回答)

※活用した137校中

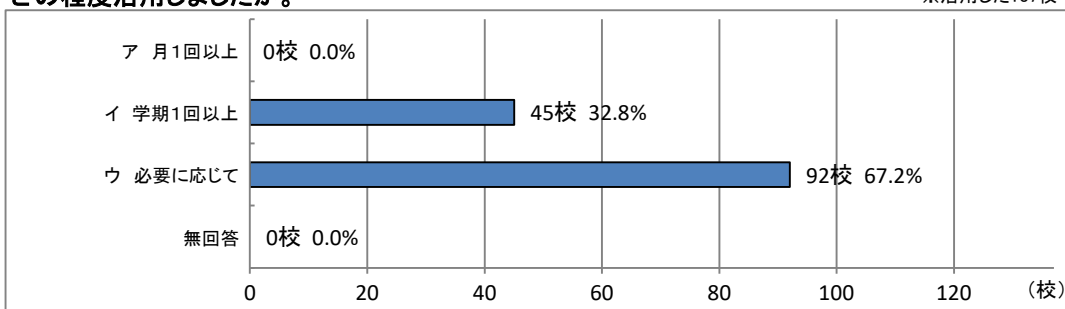


活用部分「オ その他」の主な回答  
 ・裏表紙の相談窓口一覧

活用場面「f その他」の主な回答  
 ・家庭への持ち帰り

問5 どの程度活用しましたか。

※活用した137校中



「イ 学期1回以上」の活用頻度

※「イ 学期1回以上」の回答43校中(学期頻度無回答2校を除外)

活用頻度	2学期制の学校	3学期制の学校
一学期当たり1回程度	12校	13校
一学期当たり2回程度	11校	5校
一学期当たり3回程度・それ以上	2校	—

「ウ 必要に応じて」の活用頻度

※「ウ 必要に応じて」の回答86校中(年間頻度無回答6校を除外)

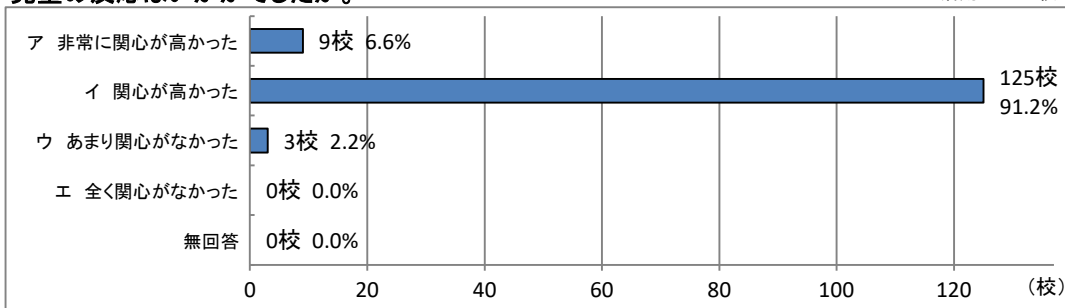
活用頻度	校数
年間1回程度	13校
年間2回程度	37校
年間3回程度	19校
年間4回程度	9校
年間5回程度・それ以上	8校

「ウ 必要に応じて」活用した学校での活用機会等についての主な回答

- ・各教科・道徳の関連単元の授業、単元構想、教材研究で活用
- ・総合的な学習の時間(キャリア教育、地域課題ほか)で活用
- ・地域のプロジェクトへの参画、職場体験、卒業を控えて自らの将来を考える際に活用
- ・学級活動、特別活動で活用
- ・朝学習で活用

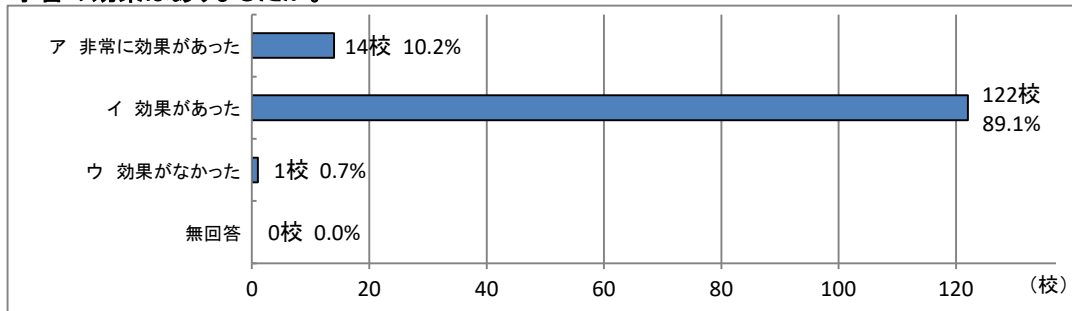
問6 児童の反応はいかがでしたか。

※活用した137校中



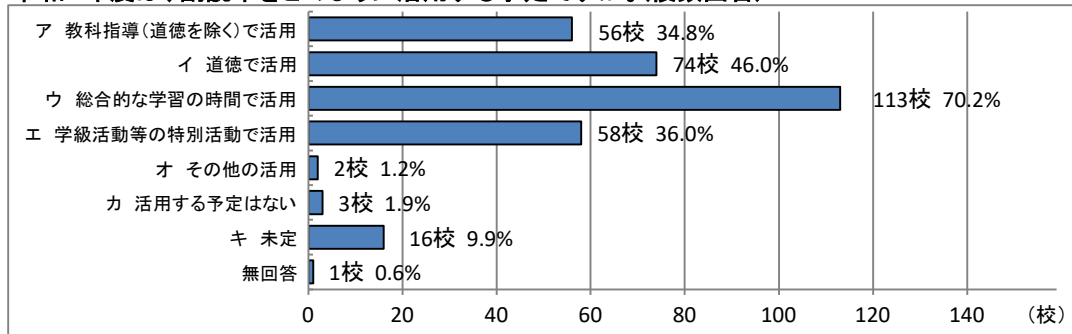
問7 学習の効果はありましたか。

※活用した137校中



問8 令和6年度は、副読本をどのように活用する予定ですか。(複数回答)

※回答があった161校中



活用方法「オ その他の活用」の主な回答

- ・読書タイム
- ・冬休みの課題として家族で話題にさせる。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等を自由に記入してください。

添付「問9 副読本の内容等についての感想、意見等(小学校)」を参照

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校）

主に副読本の内容に関する感想、意見等
色々な角度から自分自身を見つめ、これからの自分に役立てることのできるよい資料でした。
資料としても読みやすく、扱いやすそうだと感じた。
内容が多岐にわたっているので、焦点化して活用していきたい。
本校の6年生の総合学習は、前学期「見つめよう秋田の未来」後学期「見つめよう自分の未来」というテーマで、前学期は秋田県の魅力について、後学期は自分の将来の職業について調べ学習を行っています。副読本は本校のテーマにあっていてとても使いやすかったです。特に自分のことについて考えるワークシートがとてもよかったです。
・データが見やすく、かつ、分かりやすかったです。他学年の社会科の授業にも利用できると思いました。
・内容が具体的で分かりやすかった。 ・身近な内容であるため、子どもの興味をひくものであった。
副読本になっていることで、一律に同じもので学習できるのは、意義深いことであると感じ、ありがたい。
4年、5年、6年と活用できる内容だと感じた。
SDGsに関わる内容も掲載していただけるとありがたいです。
内容が絞り込まれていて、目的に合わせて使いやすい。
内容がわかりやすくまとめられていました。活用する時期や場面を考えて、今後も活用していきたいと思います。
子どもたちに問いかける形式での内容構成が、子どもたちの興味・関心をひいていた。具体的で分かりやすかった。
教科指導の際の補助的な資料として活用するのに有効でした。内容もすっきりまとめられていて分かりやすいです。
写真・グラフ・二次元コードからのリンクなど紙面の構成が工夫されており、児童は抵抗感なく読み進めることができ、学習にも活用しやすかった。
地域の祭りや食べ物の写真などが目を引き、子どもたちにとって分かりやすく秋田県の特徴が示されている。ワークシートの部分もあり、「ふるさと秋田」への思いをもちやすいように工夫されている。
総合的な学習の時間や家庭科等で、単元の学習の導入に活用しました。文章が読みやすく、各ページの構成、レイアウトもとても見やすく、分かりやすかったです。ワークシートのデータもあり、授業で取り入れやすい副読本だと思います。さらに、ワークシートのPDFデータは使い勝手がよかったです。そのままペーストして、児童のタブレットに送って活用しました。最近はタブレットを使って学習することが多いので、このような使い勝手のよい副読本が増えるとありがたいと思いました。
子どもたちにとって、とても分かりやすい構成でありがたかったです。
第1章から3章までの流れで、地元を知り、自分を知り、社会を知ることができるため、学びの広がりがあってよかった。写真やグラフなど、多様な資料があり、児童は関心をもって学ぶことができた様子だった。
キャリアに関わる学習で使用しましたが、将来の自分を想像する活動をする際に、「つながりマップ」が有効でした。
QRコードがあって便利でした。
計画した学習内容に適したシートがあったので、活用することができた。
秋田県の現状のグラフなどが、興味深かった。
自分を深く理解してこそ他者理解であると考えます。その点で、まずは自分を知るところから始まる資料が素晴らしいと思います。
写真も多く、興味深く見ることができました。
秋田県の現状を大まかに捉えるには十分だと感じます。
秋田県の出生数や人口の減少など、秋田県が抱える課題について問題提起し、「子どもたちに自分の未来を切り拓いていくにはどうすればいいのか」ということについて考えさせるという良い資料になっていると思います。子どもたちが自分で調べていくこともできると思いますが、「人口がどんどん減少していくとどんな問題が起こってくるのか」についての資料がもっとあってもいいと思いました。
「秋田の現状を知ろう」の第一章に、様々な分野のデータベースがもっとリンクしてあれば、児童の課題解決学習のためにももっと有効に活用できると感じました。
秋田の現状を知るページでは、子ども達の知らない秋田の現状が書かれていて、とても印象に残ったようです。自分を見つめ直すいい時間になりました。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校）

今後のキャリア形成に役立つ内容で、6年生の関心がとても高まりました。
写真など視覚に訴える資料が、子どもたちにとって分かりやすく効果的でした。ぜひ、今後もそのような紙面にしていただけると有り難いです。
子どもの発達段階に即して、実際に経験したことや見たり聞いたりしたこと、チェック項目などがあり、とても分かりやすい内容だった。
ライフプランニング学習副読本の趣旨は素晴らしいですが、秋田県のキャリアノートと重なる部分が多く、入学時から使用しているキャリアノートで指導しました。
秋田県の人口減少について、子どもたちも知っていたものの、改めて学習したことでさらに危機感を感じたようでした。
秋田県の情報が小学生にわかりやすく掲載されていたので、子どもたちは興味・関心を高めている様子でした。各ワークシートを有効に活用させていただきました。
コンパクトにまとめられていた。特に、秋田県に関する部分では、必要な情報が、図やグラフ、写真等で示されていて、子どもたちにとっても分かりやすいと感じた。
様々な資料により、秋田のよさや課題を考えるよい機会となった。自分たちが将来、地域や町、県のためにできることを考える「自分の未来を考える」活動につなげるために、課題解決のための秋田県の具体的な取組についても記載があればよいと思った。
秋田県の現状について確認できたり、ワークシートを活用して自分や友だちについて考えたりと、とてもよい内容になっていると思います。道徳副読本とかぶる内容のところもあるので、計画的に学習等に組み入れていければ効果的だと感じました。ダウンロードし、パワポで活用できる点もよいと思いました。
内容が興味深く、子どもたちにとって分かりやすい言葉や説明で書かれていたので、真剣に楽しみながら取り組んでいました。将来の秋田や自分の姿を具体的にイメージするよいきっかけとなりました。
本校6年生の総合的な学習の時間の内容とリンクした章があり、単元の導入等で活用することができました。
内容が充実していて、活用しやすかったです。
秋田県の現状を調べる際に役立つ資料だったと思います。第2章からは、キャリア教育の資料として参考になるかと思いました。
秋田について調べる学習を総合的な学習の時間に行ったが、中でも秋田の全国ベスト3は興味深かったようだった。県の鳥や花など、秋田についてまだまだ知らないことがあることに気付かせてくれる資料となった。
秋田県の全国ベスト3が特に興味深く、「この他には、どんなよさがあるのかな」と授業を進めやすかったです。道徳で活用した際には、ワークが数種類提案されていて、いろいろな角度からねらいに迫ることができました。
道徳、総合で効果的に活用できるので年度当初に計画を立て、十分活用していきたい。自分の将来の姿を考えたり、今の自分について見つめ直したりする学習に効果的な資料だと思いました。
とても良くまとめられていて活用しやすい。しかし、教育課程の中の決められた時数の中で十分な活用を図ることは無理があった。
「第1章ふるさと秋田を知ろう」は、秋田の自然と文化の特徴とよさを写真と説明で分かりやすく知ることができた。サイトの紹介やQRコードの掲載があれば、子どもたちが自分でさらに詳しく調べることができると感じた。今後は、ワークシートをタブレットで取り込んで学習に活用するなどしたいと考えている。
6年生で主に人との関わりについて活用した。他の内容についても読書タイムなどでQRコードの資料を見て、子どもたちが秋田のことで新しい知識を得て、興味を示していたので活用してよかった。
内容を確認しました。ふるさと教育、キャリア教育の視点からすばらしい内容であると思います。今年度はまだ活用できていませんが、この後活用したいと思います。
キャリアシートや道徳の授業内容と重複する内容が多いため、活用しませんでした。ワークシートだけでなく、授業の展開例もあれば使ってみたいと思う内容もありました。授業展開は教師が考えるのでは？と言われると、確かにその通りですが、あまりに多忙のため残念ながらそこまで手が回らないのが実情です。
様々な教科やふるさと教育、キャリア教育として利用できそうなものであり、自分自身に関する内容は必要感や有用性も高いと感じる。実際どのように使うかは配布した学年部に委ねているのが現状であり、周知の仕方や活用についての働きかけが足りなかったことが課題である。
小学6年生の内容で、将来について考える学習をする際、補助的な資料として効果が高かった。来年度以降も、活用場面を増やしていくことができると考える。
副読本とワークシートですぐ学習に取り組めるのでありがたいです。内容も多すぎず児童（6年生）の興味に合っていて反応もよかったです。
副読本の内容をみると学習シート等すぐに活用できるようにまとめられていると感じた。特に、家庭科の学習や総合的な学習の時間に活用することで、より有効な指導につながると思う。今年度は、他の資料や学習シートを活用したため副読本は活用しなかったが、来年度は活用したいと思う。
児童のキャリア教育やふるさと教育につながるよい内容でした。配布時期ですが、担任や担当が変わることがあるため、新年度当初（4月や5月）の方が、見通しをもって学習に活用していくことができると思います。（可能であれば）
とても大切な内容である。副読本ではあるが、表面をなぞる程度の学習ではなく、パンフレット活用のねらいに則して丁寧に学習するには、年間計画の中から新たに時数を生み出すことが難しかった。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校）

主に副読本の活用や配付形態に関する感想、意見等
秋田県の現状を指導できてよかったです。ワークシートがダウンロードできるのも便利でした。
全てを見ることはできなかったが、授業に活用できる範囲で活用した。
将来を考える上で、職業等を知るためのステップとして活用できたのが良かったと思う。
今年度は、6年生に配付していたが、活用がなかったので、来年度からは4年もしくは5年に配付し、教科指導や総合的な学習の時間に活用しやすくしたい。
配付数について、学年を限定されていたため第6学年に配付されたが、他学年の総合的な学習の時間でも活用できそうである。
本校では自分の生き方を考える機会として、6年生総合的な学習の時間「自分を見つめて」があります。ふるさとの現状や男女の共生のありかたについて触れている2章と3章は、子どもたちにとって、単元の中で一つの視点として参考にさせてもらいました。次年度の6年生でもこのように活用していくことと考えられます。修学旅行で岩手県を訪問しました。岩手県の特徴をつかむ際に、秋田県と比較関連していく際に第1章を活用しました。数値がインパクトありました。
今回は総合だけの活用になったが、家庭での自分の役割についても考えるきっかけになったので、今後家庭科や道徳など、他の教科でも活用していきたい。
学校にたくさんのパンフレットが届くため、使用時に配付し、その後は自宅に持ち帰り保管しているため、内容に合わせて十分に活用できず申し訳なく思います。修学旅行で秋田について調べ学習をする際に、いくつか参考にさせていただきました。内容がまとめられていて、秋田を知るためにはとてもよい情報となりました。どの学年で、どのように活用するのかが事前にわかっていると、活用の幅が広がるかと思いますが、学校にいくつかの団体様からパンフレットをご提供いただき、年間を通して全ての副読本やパンフレットを使い切れずに申し訳なく思っております。
今年度は活用できませんでしたが、家庭科や社会科及び総合的な学習等で活用できる場面を見つけて一部分をダウンロードして使用できればと思います。
有効な資料であることは承知しておりますので、令和6年度は4年生の社会科での活用を図りたい。将来の秋田県のために、有効活用の場を検討していきたいと思います。
いろいろな教科・領域で使えそうな資料がたくさんあった。ピンポイントで使うには便利だった。冊子だけでなくデータで送ってもらえると使い勝手が良さそうだという意見を職員からいただいた。
今後も活用して、自分や周りの人々を大事にして将来の秋田を支える人材を育成していきたいと思います。
自分自身や将来のことについて普段あまり考えることがない子どもたちですが、この副読本を活用したことで考えるきっかけになったと感じます。また、実際に記入できるようになっていて、子どもたちが具体的に将来について考えることにつながっていたと感じました。
「第1章ふるさと秋田を知ろう」では、子どもたちに知ってほしい秋田県の現状が分かりやすい形で紹介されていますが、今年度は、年間指導計画の中に組み込むことができませんでした。秋田の今を知る上で貴重な資料が掲載されているので、来年度は教科の学習と関連させて活用したいと考えています。また、資料を電子黒板等で提示する際、同じ内容がWebサイトにアップされているので、活用しやすかったです。
ふるさと秋田について興味をもち、ふるさとと自分との関わりを考えながら、自分の将来について考える機会となりました。
6年生担任によると、興味深く目を通したとのことであった。しかし、年間計画に位置づけていないため、一度全員で読み合わせた後、保護者と一緒に読むことを勧めて家庭に持ち帰らせたとのことであった。
子どもたちは、秋田県の現状に関心を示し、未来の秋田や自分について考える機会となりました。
6年生のせいか、「自分が思う自分の性格」がシビアな子どももいました。友達から「いいねカード」をもらい、いいところを認めてもらっていることが大変うれしそうです。
道徳の授業に関連させながら使用することができました。また、総合的な学習の時間で行った職場体験とつなげることで、将来を考える一助となりました。自分を見つめる上で、参考になったと思います。
データに基づいてふるさと秋田を考えたり、自分らしさについて考える機会を設定したりするという点において副読本は、とても有効であった。
問8にR6の予定を記入しましたが、同内容の学習が教科等の学習に位置付けられているので、この副読本を必ず利用するとは言い切れません。参考にはさせていただきます。
教師側で指示して活用するというよりは、必要な子どもが自分で参考になっているようだ。
ダウンロードして(学習シートを)の活用もいいですが、副読本にそのまま書き込んで活用するのもいいと思います。
道徳、総合「12才のハローワーク」の学習にスムーズに活用できた。
男女共同参画の視点については、このような副読本があると様々な例を知ることができて指導しやすくなります。
来年度は効果的に活用することができるように、学習計画に位置づけて進めていきたいと考えている。

問9 副読本の内容等についての感想、意見等（小学校）

自分の将来を考える授業において活用しやすかったです。
昨年も記載させていただいたと思いますが、働き方改革と多忙なカリキュラムの中に入れるのが難しい状況です。
今後もライフプランニング学習副読本を広く活用できるよう職員に呼びかけていきたいと考えています。
1時間で行いました。総合的な学習の時間も自分の未来について学習していました。 関連させて行うよりも時期をずらして行った方がねらいもはっきりして効果的でした。 副読本に、直接書き込めるとよいのかなと思いました。
・資料をダウンロードできるので、授業に活用しやすかったです。
何年生を対象にするなどして、触れない人がいなくなるとよい。
全てを読み込む時間はないため、抜粋して活用しました。内容をしぼってもよいかもしれません。
ワークシートを活用することで、自分のことを見つめたり、自身を取り巻く存在に気付いたり、職業について考えたりすることができた。
ワークシートが、とても使いやすかった。そのまま使えて、効果的だった。
秋田県の現状を知る資料は、教科でも活用できると感じた。 必要に応じて使用できるよう、副読本について周知していきたい。
次年度は第3章についても活用してみたいと思います。
豊富な内容を、時間的な都合で十分に活用できず申し訳なく思う。
今後も、授業内容の充実を図るために、有効活用していきたいと考えています。
今後は副読本の活用を考えていきたいと思います。